※令和４年度以降入学生用

学校番号	101

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	２単位 （4 単位中 2 単位）	年次	2 年次
使用教科書	「国語表現」（大修館書店）						
副教材等	1 日 10 分言語力ドリル「書く」（第一学習社） 1 日 10 分言語力ドリル「聞く・話す」（第一学習社） 国語表現ナビ（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

言葉を使いこなす力、正確に伝える力、相手を説得する力、わかりやすく説明する力、会話で関係を築く力、議論して物事をまとめる力。実社会を生きる上で必要とされる表現力を身につけるために、言葉の基礎や言語活動の基礎を学びます。

2　学習の到達目標

1　国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

2　国語表現の学習内容から「書くこと（表現）」を重視し、「書くこと」の為に「話すこと・聞くこと・読むこと」の重要性を学び、情報を得る力を養う。表現に活かす知識の量を増やすことで伝えたいことを適切に表現する力を育成する。

3　進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。 また、相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	1　言葉と出会う ［教材］ レッスン1　言葉と表記 レッスン2　整った文を書く レッスン3　相手に応じた言葉遣い レッスン4　わかりやすい文を書く レッスン5　文のつなぎ方	a:・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一したりすることについて理解している。 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や手段に応じた適切でわかりやすい文を書く方法を理解している。 b[書く]:・自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。 ・自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするために、係り受けや文末表現の統一を正確に理解して、表現のしかたを工夫している ・長すぎる文やあいまいな文を避け、読点を適切に用いるなど、工夫している。 ・自分が書いた文や文章が、読み手にわかりやすく伝わるかどうかを吟味し、表現全体を整えたり、読点の打ち方を工夫したりしている。 c: ・正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。 ・練習問題を解くことをとおして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。 ・練習問題を解くことで、わかりやすい文にする学習に積極的に取り組もうとしている。	観察 小テスト 定期考査	観察 ワークシート 定期考査	観察 ワークシート 作品
二学期	2　伝える、伝え合う ［教材］ レッスン1　自己紹介ゲーム レッスン2　言葉のストレッチ体操 レッスン3　絵や写真を見て書く レッスン4　マイニュース記事を書こう	a:・話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、自己紹介している。 ・説明の順序や5W1H、比喩を用いた説明など、相手に伝わるように書く文章について理解を深めている。 b[話/聞]:・目的や場に応じて、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、内容を検討している。 ・相手の反応に応じて言葉を選び、同意や共感が得られるよう表現を工夫している。 [書]:・伝えたい情報を整理し順序立てて、事象を的確に描写・説明するなど、表現のしかたを工夫している。	観察 小テスト 定期考査	観察 ワークシート 定期考査	観察 ワークシート 作品

※令和４年度以降入学生用

		・読み手に効果的に伝わるように書かれているかを吟味して、自分の文章の特長や課題をとらえ直している。 c:・言葉で伝え合うことを楽しみ、基礎的な対話活動に前向きに取り組もうとしている。 ・絵や写真を文章で説明することに興味をもち、相手に伝わるように書く練習に意欲的に取り組もうとしている。			
三学期	3 小論文・レポート入門 ［教材］ レッスン1 小論文とは何か レッスン2 反論を想定して書く レッスン3 文章を読み取って書く レッスン4 統計資料を読み取って書く レッスン5 発想を広げて書く レッスン6 レポートを書く	a:・小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。 b［書］:・読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。 ・目的や意図に応じて、読み取った統計資料から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 ・自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。 c:・小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書くことに関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。 ・資料から読み取れることをもとに小論文を書く活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	観察 小テスト 定期考査	観察 ワークシート 定期考査	観察 ワークシート 作品

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（20）時間

・書くこと　…　（50）時間

・読むこと　…　（0）時間